

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

年 月 日

和泉市長 あて

団体名 まちセミ・IZUMI 実行委員会

代表者名 新田 良子 印

所在地 和泉市鶴山台 3-4-4-201

電 話 0725-44-4412

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	まちセミ・IZUMI 2023
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 円 (うち、対象経費 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	マチセミイズミジッコウインカイ		
団体名	まちセミ・IZUMI 実行委員会		
団体の目的	「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。「ひとりの学び」が「みんなの学び」に。そして、「まちの学び」につながり、和泉市がステキなまちになることを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-0013 和泉市鶴山台3-4-4-201 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	0725 (44) 4412	F A X 同左
フリガナ	ニッタヨシコ		
代表者氏名	新田良子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ ニッタヨシコ	電 話	0725 (44) 4412
	新田良子	F A X	同上
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	2019年8月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ 無	会員数	15人
メールアドレス	machisemii@gmail.com		
ホームページ	http:// machisemii.com		
主な事業内容	まちセミ・IZUMI 2023 の開催		
主な活動の実績	プレまちセミ・IZUMI (2019年12月14日開催) まちセミ・IZUMI 2020 (2020年11月23日ZOOMのみ開催) まちセミ・IZUMI 2021 (2021年11月3日開催) まちセミ・IZUMI2022 (2022年11月3日開催)		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	R2	ちよいず	97,396円
	R3	市民活動推進支援事業	102,000円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	まちセミ・IZUMI 2023	
2 申請コース	<input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース	<input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース
3 事業の必要性（※別紙添付可）		
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等		
<p>本来「学び」は楽しいものだったはずなので、主体的な学びを取り戻し、老若男女が集い、笑顔あふれる新しい形の学びの場を和泉市でも作る必要がある。</p>		
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果		
<p>和泉市では、「シティプラザ」や「コミセン」などたくさんの「学びの場」があり、そこでたくさんの方が学ばれています。まちセミ・IZUMI は「ひとりの学び」が「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市をステキな「まち」にしたい。</p>		
4 事業内容（※別紙添付可）		
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。		
<p>「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。具体的には、北池田中学校の特別教室や多目的室・体育館などをお借りして、対面授業を約60講座、開催する。</p>		
② 実施期間（日時）	2023年11月3日（祝・金）	
③実施場所	和泉市立北池田中学校、	
④主な対象者	和泉市民	
⑤参加予定者数	先生60人、生徒約1400人（のべ人数）	
⑥告知方法	チラシとHPやFacebook、LINEなど及び広報など	

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
1月から	実施までに、毎月1回程度実行委員会を開催する。
4月	先生・ボランティア募集概要チラシ作成・配布
5月	まちセミ説明会（先生・ボランティア募集の呼びかけ）
7月	チラシ（募集概要）作成・配布
9月	先生・ボランティア説明会
10月	ボランティア説明会、チラシ（プログラム入り）作成・配布
11月	まちセミ・IZUMI 2023 開催
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	<p>「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作ることは、幅広い市民が参加できるイベントであるので、市民の共感はもちろん、不特定の市民の利益につながると考えられる。</p> <p>1人1人の学びが「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、まちの活性化に活かしたいと考えている。</p>
② 継続性	<p>2019年にプレイイベントを開催し、2020年は実施間際に、コロナウィルスの影響で対面での授業を中止したが、ZOOMでの授業は実施し、継続性は保つことができた。2021年度は対面形式で、57講座開講でき、約1200人（のべ人数）の参加者があった。2022年度は74講座開講し、約1400人（のべ人数）の参加があり、規模的には拡大している。</p> <p>1人1人の学びが「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市のまちづくりにも効果が波及していくと考えている。</p> <p>財源確保としては、クラウドファンディングにも挑戦し目標額を達成することができ、新しいファンを増やすこともできた。2022年度は広告協賛をしてくださる企業の開拓に力を入れ、クラウドファンディングをしなくても資金調達できた。</p>
③ 実行性	<p>事業計画や予算については、過去の経験を活かして、立案している。</p> <p>実行委員会は毎月開催し、実行に向けて検討を重ねている。</p> <p>団体の構成員は、和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」の市民活動を推進しているメンバーを中心に、和泉市民大学の卒業生が加わり組織しており、実践力に富んでいる。</p> <p>和泉市教育委員会や和泉市社会福祉協議会の後援もしていただき、信用度が増してきた。</p>

④ 協働性	<p>2022 年度は、先生希望者が約 70 名近くもあり、多くの方の協力が得られた。2021 年度にクラウドファンディングを実施したことで、新しいファンを増やすことができたと同時に、市民活動の活性化を望んでおられる方々（アイ・あいロビーのアドバイザー）や企業からの協賛も得られた。また昼休みに、キッチンカーを出店していただいたり、弁当などの販売もしてもらい、企業との協働が進んだ。2021 年度はキッチンカーが1台だけだったのが、2022 年度は 3 台に増えた。広告協賛をしてくださる会社の開拓に力を入れたことで、企業との協働も進んだ。単にお金を出していただくだけでなく、先生もしていただけるように働きかけた。大阪トヨタペットが「水素で動かせ！ミライのクルマ実験教室」をしてくださったのは、企業との協働の新しい形だといえる。さらに協働してくださる企業の開拓に力を入れたい。</p>
⑤ 公開性	<p>HPや Facebook、LINE などの SNS も活用している。 2021 年度は、和泉市全域の小中学校の児童生徒に約 2 万枚のチラシを配布した。2022 年度も、同様に配布したが、昨年ほどの効果は見られなかったが、児童・生徒を通じての配布は費用も掛からずありがたい。 他市からの参加も多く、和歌山・伊丹市・箕面市・宝塚市・堺市など広範囲の方が来られた。</p>
⑥ 発展性 (先駆性・展開性)	<p>愛知県や尼崎市などで実施されている、「サマーセミナー」を参考にしている。しかし、和泉市では今まで実施されておらず、まち全体を学びの場と考える発想は「まちセミ」独自のものである。 「まちセミ」は今まで和泉中央地域での実施だけだが、今後は他の地域での開催も視野に入れている。 最終的には、和泉市民が身近な場所で「学校ごっこ」が体験できるようにしていきたい。そのために、今年度は北池田中学校以外の中学校に対して、積極的に PR を行う予定。例えば、中学校の校長会で説明させていただくことなどを考えている。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称：まちセミ・IZUMI 2023

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	150,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
自主財源	150,000 円	広告協賛金 12 万円 自己資金 3 万円
合 計	300,000 円	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	18,200 円	駐車場係（シルバー人材より2名） 時給 1300 円×7 時間×2 人=18200 円
旅費	5000 円	ガソリン代
消耗品費	53,000 円	文房具 14,000 円、雑貨 13,000 円 のぼり旗作成費 1,300 円×20
印刷製本費	170,000 円	チラシ印刷 100,000 円 プログラム印刷 50,000 円 その他の印刷費 20,000 円
役務費	23,800 円	ボランティア保険（行事保険） 30 円×500 人=15,000 郵便代 8,800 円
使用料	30,000 円	和泉シティプラザ使用料（説明会用）
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	300,000 円	
対象経費	300,000 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

まちセミ・IZUMI 実行委員会 規約

(総則)

この規約は、まちセミ・IZUMI 実行委員会（以下「委員会」という。）の組織・運営に関する事項を定める。

(目的)

第1条 委員会は、「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。「ひとりの学び」が「みんなの学び」に。そして、「まちの学び」につながり、和泉市がステキなまちになることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会の目的に賛同する人をもって構成する。

(役員)

第3条 前条に規定する人の中から、代表1名、副代表1名を互選する。

(役員の仕事)

第4条 代表は、会の会務を総理する。

2 代表に事故がある場合は、副代表がその職務を代行する。

(事業年度)

第5条 毎年、4月1日から翌年3月31日。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて代表が召集する。

2 会議は、グループの過半数の出席を持って成立する。

3 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、和泉市鶴山台 3-4-4-201（代表宅）に置く。

(補足)

第8条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会の審議を経て別に定める。

附則 この規約は、令和元年8月31日から実施する。

まちセミ・IZUMI 実行委員会名簿				
	名前	〒	住所	携帯
1	芦田三雄			
2	芦田とし子			
3	新田良子			
4	佐近由佳			
5	的場知佐子			
6	堀田 亨			
7	佐藤正浩			
8	山本靖子			
9	藤原清伸			
10	菅野和美			
11	駒澤重信			
12	小山範子			
13	野口正文			
14	国本相子			
15	高橋里志			